



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社
 コード番号 2897 URL <http://www.nissinfoods-holdings.co.jp/>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 安藤 宏基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・CFO (氏名) 横山 之雄

TEL 03-3205-5111

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日

平成24年11月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第2四半期 | 178,398 | △0.9 | 8,897 | △26.1 | 11,124 | △15.8 | 6,203 | △41.6 |
| 24年3月期第2四半期 | 180,034 | 2.4 | 12,033 | △16.3 | 13,215 | △13.4 | 10,619 | 11.5 |

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 7,095百万円 (△45.8%) 24年3月期第2四半期 13,096百万円 (195.1%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第2四半期 | 56.30 | 56.13 |
| 24年3月期第2四半期 | 96.05 | 95.85 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年3月期第2四半期 | 405,277 | 290,175 | 70.0 |
| 24年3月期 | 414,717 | 286,657 | 67.6 |

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 283,622百万円 24年3月期 280,423百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | — | 40.00 | — | 35.00 | 75.00 |
| 25年3月期 | — | 40.00 | — | — | — |
| 25年3月期(予想) | — | — | — | 35.00 | 75.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 400,000 | 5.1 | 27,000 | 3.0 | 30,000 | 6.8 | 19,000 | 2.5 | 172.43 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】P. 3(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】P. 3(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|---------------|--------|---------------|
| 25年3月期2Q | 117,463,685 株 | 24年3月期 | 117,463,685 株 |
|----------|---------------|--------|---------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|-------------|--------|-------------|
| 25年3月期2Q | 7,271,239 株 | 24年3月期 | 7,291,193 株 |
|----------|-------------|--------|-------------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|---------------|----------|---------------|
| 25年3月期2Q | 110,186,592 株 | 24年3月期2Q | 110,562,233 株 |
|----------|---------------|----------|---------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3(連結業績予想に関する定性的情報)をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |
| (5) セグメント情報等 | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の我が国経済は、震災復興需要があるものの、欧州債務問題に対する懸念や円高の長期化及び米国・中国経済の減速に伴う輸出の伸び悩みにより、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループの中核事業である即席めん業界においては、昨年の震災特需の反動があったものの、即席袋めん市場の活性化に伴い、トータルの即席めん市場は上半期を通じて前年並みの水準で推移しました。

このような状況の下、当社は、グループの強みである技術力を活かし、多様化する消費者ニーズに対応した新商品の提案を行ってまいりました。しかし、積極的な販売施策により、販売促進費等が増加し、収益面で厳しい経営環境となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比0.9%減の1,783億98百万円となりました。利益面においては、営業利益は、販売促進費等が増加したこともあり、前年同期比26.1%減の88億97百万円、経常利益は、前年同期比15.8%減の111億24百万円となりました。また、当四半期純利益は、前年同期比41.6%減の62億3百万円となりました。

<連結業績>

(単位：百万円)

| 区分 | 平成24年3月期 | 平成25年3月期 | 対前年同期比 | |
|--------|-----------------------------|-----------------------------|--------|-------|
| | 自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日 | 自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日 | 金額 | % |
| 売上高 | 180,034 | 178,398 | △1,636 | △0.9 |
| 営業利益 | 12,033 | 8,897 | △3,136 | △26.1 |
| 経常利益 | 13,215 | 11,124 | △2,090 | △15.8 |
| 四半期純利益 | 10,619 | 6,203 | △4,416 | △41.6 |

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりです。

①日清食品

当第2四半期累計期間の販売状況は、袋めん類ではカップめんて培った技術を袋めんに応用した「日清老王」（関東甲信越・静岡地域先行販売）や「日清のどん兵衛」を発売し、売上を伸ばしました。カップめん類ではチリトマト味をラインナップに加え「ICEカップヌードルライト」という新しい食べ方を提案した「カップヌードルライト」シリーズや、カップヌードル史上最大の麺重量で食べ応えを追求した「カップヌードルキング」シリーズが好調でした。しかし、前年同期が東日本大震災直後の特別なマーケットに対応した時期であったため、トータルの売上高はほぼ前年並みとなりました。

この結果、報告セグメントにおける日清食品の売上高は、前年同期比0.8%減の887億83百万円となり、セグメント利益は、前年同期比14.0%減の84億64百万円となりました。

②明星食品

「明星 チャルメラ」をはじめとする袋めん類は、競合他社が話題性の高い新商品を発売し、激しい販売競争が展開された影響により、販売機会が減少し前年を割り込む結果となりました。カップめん類は、量販店の価格訴求販売により、「明星 一平ちゃん」「同 夜店の焼そば」シリーズなど、主に量販店チャネルで販売する商品は苦戦しましたが、人気アニメとのコラボレート企画商品が売上を伸ばし、他商品の落ち込みをカバーしました。また、「明星 チョッパヤ」「明星 評判屋」シリーズの健闘もあり、カップめん類トータルの売上高はほぼ前年並みとなりました。

この結果、報告セグメントにおける明星食品の売上高は、前年同期比5.9%減の189億96百万円となり、セグメント利益は、前年同期比60.8%減の5億72百万円となりました。

③低温事業

日清食品チルド粥の販売状況は、チルドめん市場の需要停滞に逆らえず、厳しい状況となりました。冷たいスープで味わう新提案商品「冷たいラーメンはじめました。」や「日清の太麺焼そば」が堅調に推移したものの、他商品の落ち込みをカバーするには至らず、売上減となりました。

日清食品冷凍粥の販売状況は、「冷凍 日清スパ王プレミアム」シリーズや、「冷凍 日清スパ王シェフズプレミアム」シリーズ、「冷凍 日清もちっと生パスタ」シリーズなどスパゲティ商品が売上増に貢献しました。また、夏場には「冷凍だからおいしい 関西風お好み焼」シリーズを中心としたスナックも好調な販売を維持しました。

この結果、報告セグメントにおける低温事業の売上高は、前年同期比3.6%減の260億4百万円となり、セグメント利益は、69.8%減の2億82百万円となりました。

④米州地域

米州地域の販売状況は、「Top Ramen」「CHOW MEIN」が堅調に推移、新フレーバーを発売した「BIG CUP NOODLES」も好調な売れ行きとなり、また、価格改定の効果もあり、増収増益となりました。

この結果、報告セグメントにおける米州地域の売上高は、前年同期比1.7%増の123億94百万円となり、セグメント利益は、83百万円となりました。

⑤中国地域

中国地域の販売状況は、「合味道」「開杯楽」などのカップめん類や「出前一丁」が好調に推移し、増収となりました。

この結果、報告セグメントにおける中国地域の売上高は、前年同期比8.9%増の101億43百万円となり、セグメント利益は、前年同期比199.7%増の11億80百万円となりました。

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントについて、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業並びに欧州地域、アジア地域を含んだ「その他」の売上高は前年同期比1.1%増の220億75百万円となり、セグメント利益は、前年同期比59.7%減の5億61百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は次のとおりです。

(資産の部)

資産は、前連結会計年度末に比べ94億40百万円減少し、4,052億77百万円となりました。これは主に現金及び預金等の減少により流動資産が183億92百万円減少したことによるものです。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ129億58百万円減少し、1,151億1百万円となりました。これは主に仕入債務及び未払法人税等の減少により流動負債が114億83百万円減少したことによるものです。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ35億18百万円増加し、2,901億75百万円となりました。これは主に利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加によるものです。

この結果、自己資本比率は70.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期の連結業績は、概ね予想通りに推移しており、平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年4月27日に発表しました通期の業績予想から変更は行っておりません。

なお、今後、業績に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 67,599 | 57,255 |
| 受取手形及び売掛金 | 46,490 | 41,778 |
| 有価証券 | 10,836 | 6,931 |
| 商品及び製品 | 9,652 | 10,473 |
| 原材料及び貯蔵品 | 7,854 | 8,418 |
| その他 | 9,642 | 8,803 |
| 貸倒引当金 | △261 | △238 |
| 流動資産合計 | 151,815 | 133,422 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 47,999 | 52,981 |
| その他（純額） | 78,360 | 77,006 |
| 有形固定資産合計 | 126,360 | 129,988 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 2,648 | 2,273 |
| その他 | 1,290 | 1,318 |
| 無形固定資産合計 | 3,939 | 3,592 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 117,635 | 116,438 |
| その他 | 15,305 | 22,175 |
| 貸倒引当金 | △338 | △338 |
| 投資その他の資産合計 | 132,602 | 138,274 |
| 固定資産合計 | 262,902 | 271,855 |
| 資産合計 | 414,717 | 405,277 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 44,876 | 40,048 |
| 短期借入金 | 1,780 | 1,747 |
| 未払金 | 20,136 | 18,173 |
| 未払法人税等 | 6,813 | 4,152 |
| その他 | 17,257 | 15,259 |
| 流動負債合計 | 90,865 | 79,382 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 12,860 | 12,440 |
| 退職給付引当金 | 9,450 | 8,618 |
| その他 | 14,883 | 14,660 |
| 固定負債合計 | 37,194 | 35,719 |
| 負債合計 | 128,060 | 115,101 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 25,122 | 25,122 |
| 資本剰余金 | 48,416 | 48,416 |
| 利益剰余金 | 247,138 | 249,477 |
| 自己株式 | △21,855 | △21,796 |
| 株主資本合計 | 298,821 | 301,220 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,385 | 4,072 |
| 土地再評価差額金 | △7,275 | △7,275 |
| 為替換算調整勘定 | △15,509 | △14,393 |
| その他の包括利益累計額合計 | △18,398 | △17,597 |
| 新株予約権 | 658 | 899 |
| 少数株主持分 | 5,575 | 5,653 |
| 純資産合計 | 286,657 | 290,175 |
| 負債純資産合計 | 414,717 | 405,277 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 180,034 | 178,398 |
| 売上原価 | 101,668 | 100,300 |
| 売上総利益 | 78,366 | 78,098 |
| 販売費及び一般管理費 | 66,332 | 69,201 |
| 営業利益 | 12,033 | 8,897 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 437 | 422 |
| 受取配当金 | 896 | 1,031 |
| 持分法による投資利益 | 181 | 887 |
| その他 | 243 | 336 |
| 営業外収益合計 | 1,758 | 2,678 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 109 | 106 |
| 為替差損 | 326 | 258 |
| その他 | 140 | 85 |
| 営業外費用合計 | 576 | 450 |
| 経常利益 | 13,215 | 11,124 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 154 | 170 |
| 投資有価証券売却益 | — | 359 |
| 厚生年金基金代行返上益 | 5,410 | — |
| 受取保険金 | — | 152 |
| その他 | 0 | — |
| 特別利益合計 | 5,565 | 682 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 1 | 33 |
| 固定資産廃棄損 | 85 | 176 |
| 投資有価証券評価損 | 9 | 920 |
| 災害による損失 | — | 126 |
| 特別損失合計 | 96 | 1,256 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 18,684 | 10,550 |
| 法人税等 | 7,950 | 4,267 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 10,734 | 6,282 |
| 少数株主利益 | 114 | 78 |
| 四半期純利益 | 10,619 | 6,203 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 10,734 | 6,282 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 410 | △359 |
| 為替換算調整勘定 | 63 | 347 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 1,888 | 825 |
| その他の包括利益合計 | 2,362 | 813 |
| 四半期包括利益 | 13,096 | 7,095 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 13,036 | 7,005 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 59 | 90 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|---------|--------|--------|--------|-------|---------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 日清食品 | 明星食品 | 低温事業 | 米州地域 | 中国地域 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 89,531 | 20,188 | 26,977 | 12,188 | 9,316 | 158,202 | 21,832 | 180,034 | — | 180,034 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 245 | 525 | 271 | — | 43 | 1,086 | 8,057 | 9,143 | △9,143 | — |
| 計 | 89,777 | 20,713 | 27,249 | 12,188 | 9,359 | 159,288 | 29,889 | 189,178 | △9,143 | 180,034 |
| セグメント利益 又は損失 (△) | 9,841 | 1,459 | 935 | △185 | 393 | 12,445 | 1,392 | 13,837 | △1,804 | 12,033 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,804百万円には、退職給付関係費用43百万円、のれんの償却額△375百万円、セグメント間取引消去等2百万円、グループ関連費用△1,475百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|---------|--------|--------|--------|--------|---------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 日清食品 | 明星食品 | 低温事業 | 米州地域 | 中国地域 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 88,783 | 18,996 | 26,004 | 12,394 | 10,143 | 156,323 | 22,075 | 178,398 | — | 178,398 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 97 | 564 | 256 | — | 43 | 962 | 8,002 | 8,964 | △8,964 | — |
| 計 | 88,881 | 19,561 | 26,260 | 12,394 | 10,186 | 157,285 | 30,077 | 187,363 | △8,964 | 178,398 |
| セグメント利益 | 8,464 | 572 | 282 | 83 | 1,180 | 10,583 | 561 | 11,145 | △2,248 | 8,897 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,248百万円には、退職給付関係費用△365百万円、のれんの償却額△375百万円、セグメント間取引消去等15百万円、グループ関連費用△1,523百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から社内の業績管理区分を一部変更し、従来日清食品セグメントにて負担していたグループ関連費用を調整額に配分しております。

この変更により、従来の方によった場合に比べ、「日清食品」のセグメント利益が1,523百万円増加し、「調整額」のセグメント利益が1,523百万円減少しております。

なお、前第2四半期連結累計期間については、当年度のセグメント利益の測定方法に基づき遡及して作成した数値となっております。